



白浜町

議会だより

No.63

令和4年(2022)2月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会

CONTENTS

- 令和3年第4回定例会、第2回臨時会 P. 2~7
- 一般質問 P. 8~11
- 委員会活動 P. 12~13
- 議会活動報告 P. 14
- 町議会・町議会議長の主な動き P. 15
- 次回定例会日程など 背表紙

▷▷ 令和3年第4回定例会 (12月7日～12月22日)

7日	<p>第1日【開会、町長挨拶、提案理由説明、議案審議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期の決定 ・提案理由説明（専決処分承認3件、条例改正5件、補正予算5件、報告1件、ほか4件） ・議案審議（補正予算1件）
16日	<p>第2日【一般質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溝口議員、南議員、辻議員、小森議員 ※P8～P9に内容記載
17日	<p>第3日【一般質問、提案理由説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廣畑議員、松田議員、水上議員、長野議員 ※P10～P11に内容記載 ・追加議案の提案理由説明（補正予算1件）
21日	<p>第4日【議案審議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議案審議（専決処分承認3件、条例改正5件、補正予算5件、ほか4件）
22日	<p>第5日【議案審議、提案理由説明、閉会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追加議案の提案理由説明（条例改正1件、人事案件4件） ・議案審議（報告1件、条例改正1件、人事案件4件、令和2年度決算認定関係9件） ・委員会発議案件（条例制定1件、閉会中の継続調査・審査申出 各1件）

条例制定・改正

- 白浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- 白浜町国産材需要開発センター条例の一部を改正する条例について
- 白浜町漁港管理条例の一部を改正する条例について
- 白浜町都市公園条例の一部を改正する条例について
- 白浜町企業誘致促進条例の一部を改正する条例について
- 白浜町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例について

補正予算

○令和3年度白浜町一般会計補正予算(第6号)

- ・既定予算への補正額 1億3700万円
- ・補正後の歳入歳出予算総額 128億3196万円
- 主な補正内容は次のとおり
- 【民生費】
- ・子育て世帯臨時特別給付金事業 1億3700万円

○令和3年度白浜町一般会計補正予算(第7号)

- ・既定予算への補正額 4億2860万円
- ・補正後の歳入歳出予算総額 132億6056万円
- 主な補正内容は次のとおり
- 【総務費】
- ・ふるさと白浜応援寄附金事業 2億2000万円
- 【民生費】
- ・障害者自立支援給付費等事業 5975万円
- 【衛生費】
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 1億901万円
- 【農林水産業費】
- ・血深井堰堰上施設改修事業 330万円

○令和3年度白浜町一般会計補正予算(第8号)

- ・既定予算への補正額 1億3350万円
- ・補正後の歳入歳出予算総額 133億9406万円
- 主な補正内容は次のとおり
- 【民生費】
- ・子育て世帯臨時特別給付金事業 1億3350万円

○令和3年度白浜町国民健康保険
事業特別会計補正予算(第3号)

・既定予算への補正額

115万2千円

・補正後の歳入歳出予算総額

29億206万4千円

○令和3年度白浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

・既定予算への補正額

414万8千円

・補正後の歳入歳出予算総額

6億7114万8千円

○令和3年度白浜町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

・既定予算への補正額

180万円

・補正後の歳入歳出予算総額

1280万円

事業委託に関する変更協定

【事業名】

・白浜町公共下水道白浜浄化センターの地震津波対策事業

【協定金額】

・変更前 7億200万円

・変更後 5億7718万円

人事案件

委員の選任について、次の方を同意しました。(敬称略)

○富田共有財産組合委員会委員

・西尾 智朗 (日置)

・瀬見 幸男 (富田)

・湯川 賢二 (富田)

・野々田 憲市 (富田)

土地の処分

【土地の表示】

・白浜町久木鍋津呂谷864番4の一部 外2筆

2万7516.11㎡

【処分の目的】

・和歌山県が施行する県道白浜久木線道路改良事業のため

【処分の価格】

825万4833円

報告と質疑

次の事項について報告を受け、質疑を行いました。

○第53期南白浜温泉株式会社経営状況の提出について

指定管理者の指定

○白浜町管理漁港施設

○白浜町国民健康保険直営川添診療所

▽永年地方議会議員感謝状伝達式

10月5日に総務大臣から、議員として通算35年以上在職し、地方自治の発展に寄与した西尾議長に感謝状が贈呈されましたので、定例会初日の開会前に感謝状の伝達式を行いました。



▽令和3年第2回臨時会

令和3年第2回臨時会は、10月27日招集、1日間の会期で開催しました。

工事請負契約に関する紛争の仲裁に係る案件等を審議し、全て可決、承認しました。

また、令和3年度白浜町一般会計補正予算(第5号)可決後、堀副議長から本件補正予算に関する附帯決議(案)が提出され、審議の結果、全会一致で可決しました。(7頁参照)

補正予算

○令和3年度白浜町一般会計補正予算(第5号)

正予算(第5号)

・既定予算への補正額

626万円

・補正後の歳入歳出予算総額

126億9496万円

主な補正内容は次のとおり

【教育費】

・仲裁判断支払金

626万円

Pick up! ①

鳥獣被害対策実施隊 【全員協議会（12月7日開催）】

鳥獣被害防止特措法に基づき、町は、被害防止計画に基づく捕獲、防護柵の設置といった鳥獣被害対策の実践的活動を担う「鳥獣被害対策実施隊」について、検討しています。

問 必要経費と町の負担は。

答 令和4年度以降の実施に向け、制度設計を進めているところです。なお、実施隊活動のために町が負担した経費の8割が、特別交付税で措置されます。

問 対象となる鳥獣は。

答 被害防止計画で対象鳥獣を定めることとなり、イノシシ、シカ、サルなどが対象となります。

問 実施隊の規模と活動内容は。

答 実施隊は、町長が指名・任命した者で構成され、1回あたりの活動で5名〜10名程度を想定しています。活動内容としては、対象鳥獣の捕獲、防護柵の設置、追い払い活動などを行います。

問 従来の駆除、捕獲に関する補助制度との違いは。

答 従来の駆除、捕獲に関する補助制度に加えて、対象とならなかった追い払い活動等にも報酬を支払うことで、更なる鳥獣被害の軽減、防止を図るものです。



Pick up! ②

新型コロナウイルスワクチン接種事業 【一般会計補正予算（第7号）】

新型コロナウイルスワクチンに係る3回目接種の実施に伴い、円滑な接種を実施するための体制整備を行い、新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図ります。

問 接種対象者は。

答 新型コロナウイルスワクチンの2回目接種から、概ね8か月を経過した18歳以上の方

問 接種費用は。

答 接種に要する費用は公費で負担するため、無料となります。

問 接種方法は。

答 集団接種（白浜会館、日置川拠点公民館）、または、個別接種（町内のかかりつけ医療機関）を予定しています。

問 接種時期は。

答 令和3年12月下旬から順次、接種券を発送し、接種開始時期は、令和4年2月以降を予定しています。※接種開始時期は、ワクチン供給量等によって、変更する場合があります。

※ワクチン接種の詳細は、新型コロナウイルスワクチン接種専用ダイヤル（0739-34-2233）まで、お問い合わせください。



Pick up! ③

子育て世帯臨時特別給付金事業
【一般会計補正予算（第6号・第8号）】

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化するなか、子育て世帯を支援する観点から、0歳から18歳の児童1人あたり10万円相当の支給を行うことが、令和3年11月19日に閣議決定されました。



問 対象者は。

答 ①令和3年9月分の児童手当支給対象児童 ②平成15年4月2日から平成18年4月1日生まれの高校生等 ③令和4年3月31日までに生まれた児童手当支給対象児童

問 支給額、支給時期は。

答 令和3年12月下旬から対象児童1人につき10万円を現金支給。

問 申請方法は。

答 令和3年9月分の児童手当受給者は申請不要。ただし、次の①～③に該当する方は申請が必要。①令和3年9月以降に新生児が生まれた方 ②公務員の方 ③中学校を卒業した児童（高校生等）のみを養育している方

問 所得制限の取扱いは。

答 令和3年度（令和2年度中）の所得が児童手当の所得制限限度額以上である受給者は、支給対象になりません。

Pick up! ④

ふるさと白浜応援寄附金事業
【一般会計補正予算（第7号）】

平成20年度の税制改正で寄附金税制が拡充され、「ふるさと」を応援したいという方の思いを実現するため、地方公共団体に寄附した場合、住民税や所得税が一定限度まで控除されるようになりました。



問 寄附金受入実績と見込みは。

答 令和元年度で1億3000万円、令和2年度で2億4600万円の受入実績があり、今年度は、5億2000万円の寄附金受入れを見込んでいます。

問 増加の要因と今後の取組は。

答 感染症拡大に伴う巣ごもり需要を背景に、自宅で過ごす時間が増えたほか、旅行や帰省ができない分、地域の特産品を求め寄附者が増えているものと考えています。引き続き白浜町の認知度向上、また自主財源の確保に向け、取組を強化したい。

問 寄附金の活用方法は。

答 いただいた寄附金は、ご希望の使い道によって、次のような事業に活用させていただきます。①地域振興に関する事業 ②環境保全等に関する事業 ③福祉の充実に関する事業 ④観光、商工、農林水産業等の振興に関する事業 ⑤教育、文化及びスポーツの振興に関する事業



Pick up! 5

工事請負契約に関する紛争の仲裁
〔一般会計補正予算（第5号）〕

平成29年3月末に完成した白浜第一小学校建設等工事に係る工事費の精算において、工事請負契約をめぐる紛争が生じ、当事者間での解決が見込まない状況となり、和歌山県建設工事紛争審査会の仲裁に付した。

問 仲裁判断の内容は。

【答】令和3年8月31日に仲裁判断があり、仲裁判断において工事請負契約に基づき支払うよう判断された金員については、令和3年10月27日の議会議決を得て、工事請負業者に625万4727円を支払いました。今後も、適切な工事執行に努め、町民の皆さまに信頼をいただけるよう行政運営に取り組んでまいります。

▽ 仲裁判断

① 被申請人（白浜町）は申請人（工事請負業者）に対し、549万2490円及びこれに対する平成29年5月16日から支払済みまで、年3.1%の割合による金員を支払え。② 申請人はその余の請求を棄却する。③ 仲裁手続費用は、各自の負担とする。

※ 議決した本件補正予算に関して、議会は附帯決議を可決しています。（詳細は7頁を参照。）

▷▷ 討論のあった議案

定例会4日目に、議案第82号「専決処分の承認について」に対し、廣畑議員から反対討論があり、起立採決の結果、賛成多数により、承認しました。

○ 処 分 事 項 「白浜町職員の給与等に関する条例及び白浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」

○ 専決年月日 令和3年11月30日

賛成○ 反対×	採決結果	堀 匠	楠本隆典	廣畑敏雄	西尾智朗	正木秀男	南勝 弥	小森 一典	辻 成紀	松田剛治	溝口耕太郎	長野 莊一	堅田府利	水上久美子
議案第82号 「専決処分の承認について」	承認	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 議長（西尾智朗）は採決に加わりません。

反対

* 議案第82号 廣畑議員 反対討論（要旨）

1つ目として、当該条例改正を専決処分することについて、議会を招集する暇がないとは思えないこと。2つ目として、コロナ禍で経済活動が落ち込んでいるなか、政府は補正予算を組み、景気の下支えを行っているにも関わらず、公務員の期末手当をカットすることで購買力の低下、景気に悪影響を与えることが明らかであること。以上により、本議案を不承認としたい。

▷▷ 令和3年第2回臨時会（附帯決議）

令和3年第2回臨時会において、令和3年度白浜町一般会計補正予算（第5号）可決後、堀副議長から本件補正予算に関する附帯決議（案）が提出され、審議の結果、全会一致で可決しました。

議案第81号令和3年度白浜町一般会計補正予算（第5号）に関する附帯決議

議案第80号は、和歌山県建設工事紛争審査会からの仲裁判断により、金549万2,490円及び年3.1%の割合による金員を申請人に支払う内容であり、仲裁法第45条第1項では、その仲裁判断は司法の確定判決と同一の効力を有すると記載されている。

この件は、平成29年3月末に完成した白浜第一小学校建設等に関して、申請人との工事の精算について協議が行われたが、白浜町との見解の相違などにより、当初の工事請負契約書に基づき、申請人から平成29年6月12日付けで和歌山県建設工事紛争審査会に建設業法による調停が申請された。その後の経過として、調停審査会が開催され、平成30年11月2日には、調停事項案が出されたが平成30年11月26日に和解不成立となり、平成30年12月21日に新たな仲裁申請書が提出され、令和3年3月18日に至るまで計8回の仲裁審理が行われ、令和3年9月22日に仲裁判断書が町に送付された。

本件は、アスベスト除去工事の壁養生数量及び残土処理数量の相違から端を発し、問題について双方話し合いが行われたが、協議が不成立となった。この間に3回の議員懇談会が開催され、調停・仲裁の経過報告が行われた。そして、令和3年10月12日開催の全員協議会にて、仲裁判断結果として、町に対して一部支払いするように判断が示されたことの報告があった。

一連の経過を鑑みると、調停・仲裁に至るまで、申請人と和解に至らなかったことの政治的責任は重大であり、また職員の指導・管理監督も町長の責務である。

したがって可決にあたり下記事項について誠意を持って対応されたい。

記

1. 申請人に対し、早急に仲裁判断支払金を支払われたい。
2. 仲裁結果について、住民に広報等で説明されたい。
3. 再発防止に万全を期するとともに、規則や規律を遵守し、厳正・厳格なる事務処理を行うこと。
4. 町長として、道義的・政治的責任を求めるとともに、適切な行政運営に取り組まれない。

以上決議する。

令和3年10月27日

白浜町議会

※附帯決議とは…

議案等を議決する際に付け加える議会の意見、または要望のことを言います。

法的な拘束力はありませんが、政治的に尊重されるべきものとされています。

問 高齢者の交通手段確保に向けた進捗は

答 早期に実現できるように取組を進めたい

問 富田川を挟んだ地域の公共交通の不便さについて、町はどのように考えているのか。

答 高齢者の移動手段等については、地域の実情や高齢者の生活実態など、様々な課題があり、今後、高齢化や人口減少が進むなか、高齢者の移動手段の確保については、移動サービスの充実が重要性を増すものと考えています。



(白浜はまゆう病院が運行するシャトルバス)

問 特に、医療機関等に行く手段について、現在、白浜はまゆう病院が行っている患者送迎サービス、または、白浜地域で行われている通院送迎車運行のどちらかを富田地域に取り入れるべきだと考えるが、町の考えはどうか。

答 高齢者の通院等に係る送迎サービスは、町の重要課題であると認識しています。

通院送迎サービスの拡充には、運行範囲や利用形態、運行に伴う経費等の検討を進め、早期に実現できるように取り組みたいと考えています。



みづぐち こうたろう 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで

※このほか、「デジタル田園都市国家構想について」質問しました。

問 園舎統合も含めた湯崎保育園の移転計画か

答 将来的に施設の集約を図ることも可能

問 旧白浜町は、白浜と富田にそれぞれ幼児園との前提で幼保一元化を進めてきた。湯崎保育園移転がうまくいかず、急に消防署隣に変更。いずれ白浜幼児園をそこに統合する計画での移転なのか。

答 白浜幼児園は、津波浸水区域内に一部含まれているので、将来的には消防本部横に造成工事を行うことで集約を図ることも可能であると考えている。

小学校の複式学級

問 令和2年度の町内出生児は91人で、6年後の小学生は664人と予想される。今9校のうち6校が複式学級で、近いうちに1校が複式学級になる見込みである。少子化が一段と進むなか、町は統廃合の検討を全くしていないが。



(新たに建築予定の湯崎保育園園舎図面)

答 現時点で統合等の検討はして

おりませんが、関係者から検討のお話等がありましたら、現状や将来推移等を示し、協議を行ってまいります。



みなみ かつや 南 勝弥 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで



つせいき 議員
辻成紀



QRコードの有効
期限は3月下旬まで



(日置川で運行中の
コミュニティバス)

問 椿、富田地域にコミュニティバスの導入を

答 高齢者タクシー券助成事業で対応したい

問 免許証自主返納者の交通手段確保を含め、高齢者等がタクシーを利用する際の助成制度が打ち出された。高齢者の外出支援の促進を図るため、半額助成できないか。

答 高齢者等にタクシー券を販売する計画をしている。実証実験的な意味も含め、割引率2割という条件で事業を開始したい。

問 電車で通学する高校生に対し、電車定期代の一部を補助する考えはないか伺う。

答 電車・バスなどの公共交通機関の利用、自転車、家族の送迎など、通学形態が多岐に渡っており、助成の範囲や対象など、整合性を考慮すると、現時点では困難であると考ええる。

問 コロナ禍における子ども、子育て支援について

答 感染症に対する子どもへの理解と認識はいかがか。また、感染が出た場合の学校等の対応は、

答 国や県などのガイドラインに基づき、学年や発達段階に応じて指導している。また、感染者が出た場合には、学校における感染およびその拡大のリスクを低減した上で、学校運営を継続していく。

問 子育て支援に対する今後の厚い政策についての考えは。

答 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援するため、令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金事業について、現在、取組を進めている。

問 整備が困難な農業用水路・排水路への対応

答 水利組合等の負担軽減に向けた検討必要

問 農業人口の減少と高齢化が進み、農業用水路・排水路の維持管理が大変厳しい状況となつている。特に日置川地域では、補助金を活用しても、水利組合及び受益者負担だけでは難しい現状がある。今後の対策について伺う。

答 水利組合等の負担軽減のために、過疎地域等での土地改良事業の地元負担割合引下げや、農業用揚水事業補助額の引上げを検討している。

問 行財政改革における子育て支援・高齢者福祉施策の展望

答 コロナ感染症の影響もあり、昨今の町財政は非常に厳しい現状であると聞く。今後の子育て支援および高齢者福祉施策の充実を願



(農業用水路整備の事例として
取り上げられた伊古木地区)

答 い、更なる行財政改革への取組は喫緊の課題であると考えますが、当局の見解を伺う。

答 本町でも高齢化が進み、生産年齢人口が今後更に減少していくことは、避けて通ることができない課題であり、引き続き「行政改革取組方針」に基づく取組を進めていく考えである。



QRコードの有効
期限は3月下旬まで



こもり かずりの
小森 一典 議員

問 西越地域の町営住宅の整備方針は

答 民間等の住宅環境も加味し、整備を検討

問 経年劣化が著しい西越地域の町営住宅をどのようにされるのか、町の考えについて伺う。

答 他の公営住宅や民間の賃貸住宅の入居状況等を鑑み、今後のニーズに沿った整備を検討していきたい。

高年齢福祉の前進のために補聴器の補助を

問 身体障害者手帳取得の70デシベル以下の中度、軽度の聴覚障害者に補聴器の補助ができないか。高齢者の社会性を高め、ひきこもりがちにならず、人とコミュニケーションを図るためにぜひ必要と考えるが、いかがか。

答 現在、難聴者として障害者手帳が交付された方を対象に、補聴器の購入補助を行っている。中度、軽度の聴覚障害者への補助制度にはもう少し慎重な議論が必要と考える。

このほか、「国保の均等割の子どもの半額助成を」、「原油値上がりの対応等について」などの質問をしました。



ひろはたとしお 廣畑 敏雄 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで



(西越地域の町営住宅)

問 ワンストップ窓口の設置でサービス向上を

答 来庁者の負担軽減に向け、検討を進める

問 お悔やみといった手続きの際に、迅速に対応するため町役場内に「おくやみコーナー」の設置および「おくやみハンドブック」の配布についての考えを伺う。

答 現在、ワンストップ窓口は設置できていないが、届出手続きが複数の課にまたがる場合には、担当職員が窓口に向いて応対するなど、来庁者が極力庁舎内を移動することがないように努めている。また、ハンドブックの作成については、今後、調査・研究してまいりたいと考える。

問 ワンフロアに関連窓口部署を集約し、福祉総合窓口として一本化を図るべきではないかと考えるが、町の考えについて伺う。

答 福祉関連の窓口は、本庁と東別館に分かれているが、連携ができていない。今後も町民の利便性向上に努めてまいりたい。

福祉・人権学習について

問 SDGsの理念でもある持続可能な社会の実現に向けて、LGBT等の性の多様性に関する人権学習の状況と、今後の方向性について伺う。

答 人権学習では、男性や女性という価値観ではなく、人として大事なことは何かということを考えながら取り組むことが大切である。それぞれの考えや思いを認め合える学校作りと、悩みを持った児童生徒が相談しやすい環境作りを進めていきたいと考える。



まつだ たけはる 松田 剛治 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで



(窓口一本化の必要性を問う 役場東別館 福祉関連窓口)

問 観光地白浜の新たな町づくりの考えは

答 町の魅力・価値を創出し、世界に発信

国内で頻発している地震

問 コロナ禍収束の見通しがない。年度途中であるが、観光地として、財政見通しと地域の特性を生かし、思い切った施策を投じた新たなまちづくりを期待する。町の考えは。

答 町の基幹産業である観光産業は、都市的な観光拠点としての魅力と、海、山、川の豊かな自然のなかでの体験・交流型の観光資源を合わせ持っている。

アフターコロナを見据え、このような特色を最大限に生かし、連携させることにより、更なる魅力・価値を創出し、全国的にも、世界的にもアピールできるまちづくりを進めていく。

問 国内で頻発している地震について、12月3日に発生した紀伊水道での震度5弱の揺れに、南海トラフの前兆か否か、気象庁と専門家の見解が違い不安である。巨大地震対策と町の危機管理の見解、地震対策における現状と進捗の状況、これから優先しなければならぬ町の課題について伺う。

答 いくつか大規模な地震が発生してもおかしくない状況であると思っており、避難路の見直しなど、よりきめ細かな防災減災対策を講じてまいりたい。

ほか、「高齢者の入浴支援について」質問しました。

問 通院等の交通手段の支援策の拡充について

答 送迎サービスの早期実現に向け取り組む

問 現在の通院支援策は、白浜はまゆう病院と西富田クリニックの間を走るシャトルバスと、病院周辺地域に暮らす患者自宅からのサービスを開始しているが、椿地区、富田地区の方は公共交通が不便であり、バス停まで行くのが困難な方や、あるいは、家族等による送迎が困難な方などが多く住んでいる。通院等の交通手段の支援策について、今まで病院とどのような協議をされているのか伺う。

答 病院への送迎サービスの拡充につきましては、永年の課題でもあり、運行範囲や利用形態、また、送迎サービスに係る費用などの検討を進め、送迎サービスが早期に実現できるよう取り組んでまいりたいと考えている。

集会所の維持管理等について

問 平成18年に新白浜町が誕生し、15年が経過するが、集会所の維持管理をどのように行っているのか伺う。

答 集会所等の維持管理については、地元自治会の活動拠点となる集会所等については、指定管理者制度を活用し、日常的な維持管理

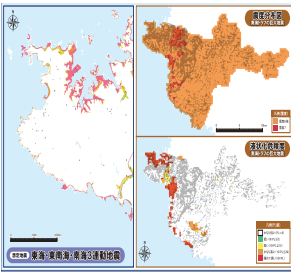
を地元自治会において行っており、本制度の活用に適さない集会所等については、本町において維持管理等を直接行っている。



みずかみ くみこ
水上 久美子 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで



(津波ハザードマップ)



ながの そういち
長野 荘一 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで



(白浜はまゆう病院
シャトルバスバス停)

▷▷ 議員報酬等の特例に関する条例の制定



議員定数等検討特別委員会

【委員長】楠本 隆典

【副委員長】小森 一典

【委員】堀 匠、廣畑 敏雄、正木 秀男、南 勝弥、辻 成紀、松田 剛治、
溝口 耕太郎、長野 莊一、堅田 府利、水上 久美子

委員会では、「議会議員としての職責に鑑み、長期欠席した場合に議員報酬等を減額する条例の制定が必要である。」との委員会採決結果に基づき、長期欠席期間や減額割合について協議を行い、12月定例会において、条例案を提案、審議することに決定しました。

その決定を受け、12月22日に開催した定例会4日目において、楠本委員長が委員会提出議案1件について提案説明を行い、採決の結果、発委第16号は原案のとおり可決されました。

○発委第16号「白浜町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定について」

採決結果：可決（全会一致）

条 例 概 要

◆条例の内容

議員が公務上の災害等によらず、療養その他の理由により、町議会の会議等を欠席した場合、その期間に応じた議員報酬等の減額について規定。

◆減額するとき

- ・療養その他の理由により長期欠席したとき
- ・刑事事件の被疑者または被告人として、その身体を拘束される処分を受けたとき

◆条例の施行期日

令和4年3月26日施行

▷▷ 決算審査特別委員会審査報告書

決算審査特別委員会は、10月4日から7日までの4日間、委員会を開催し、令和2年度一般会計および特別会計8件の決算を審査しました。以下に、総括意見を掲載します。

決算審査特別委員会審査報告書 総括意見

令和2年度決算は、各種会計において、「第2次白浜町長期総合計画」をもとに「住みたい、住み続けたい、住んでよかった」と感じられる、魅力あふれる「白浜町」を創造するため、防災対策、生涯学習、観光振興、農林水産業振興、地域振興等々の諸施策に対して、また新型コロナウイルス感染症対策について取り組まれている。

今後の行政施策の取組においては、同計画をもとに、各種施策が展開されるものと思われるが、社会情勢の動向等に注視しながら、限られた財源を効果的、効率的に活用した行財政運営とともに、地域バランスや事業の優先順位などを十分考慮しながら、中長期的な見通しを立て、事務事業の執行に取り組まれない。

歳入においては、人口減少に伴い町税収の伸びは期待できない状況にある中、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による経済・景気への影響や、緊急経済対策における税制上の措置が講じられたこともあり、自主財源の割合は約28.5%にとどまっており、地方交付税や国庫支出金等に歳入の多くを依存している状況である。今後依存財源の確保や行財政運営は、極めて厳しくなっていくものとする。よって、町税、国民健康保険税、各種使用料、手数料等の未収金については、町財政の根幹である自主財源の低下を招くものであることから、公金の徴収・収納に関しては、引続き各課の連携を密にして積極的な徴収業務を実施するとともに、財源の確保と負担の公平性の観点からも、対策の強化に努められたい。

歳出においては、財政の深刻度を示す財政健全化判断比率は、それぞれ前年度決算と同程度である。財政構造の弾力性を判断するための指標である経常収支比率は、前年度決算より3.0%悪化し、令和2年度決算では95.5%と依然として財政構造の硬直化が続いていることを示しており、今後も厳しい財政運営を強いられることが予想される。

こうした中、行政改革においては、財政再建、経費削減に努められ、民間活力を活用した、行政事務等の民間委託やアウトソーシングなどにより、行政のスリム化、効率化が推進されており、今後も多様化する住民ニーズに的確に対応するため、なお一層の合理化に努めるとともに、経費支出の効率化に徹し、財政経営の健全化を図られたい。

少子高齢化の進行等を背景として、児童生徒数の減少が続いている。学校規模の適正化の検討は、様々な要素が絡む困難な課題であるが、児童生徒の教育条件の改善を考慮しつつ、保護者や地域住民と共通理解を図りながら、総合的な観点から、学校の統廃合等について検討されたい。

複雑化・多様化する行政事務に対し、事務事業量に応じた適正な職員数を確保し、また適正な事務処理が行える仕組みを構築することにより、住民から信頼される町政の実現を目指すとともに、職員にとって安心して働きやすい職場環境の実現を目指されたい。

決算審査を行う意義は、「行政効果の客観的判断と、今後の改善や反省事項の把握と活用」である。当委員会で出された意見を真摯に受け止め、次年度予算の編成・執行に活かされたい。また、今後とも町民の福祉の向上や質の高い行政サービスの提供を行うなど、施策・事業の計画的推進、重点化及び効果的な財源配分に努められたい。

【委員長】 廣畑 敏雄

【副委員長】 堅田 府利

【委員】 正木 秀男、南 勝弥、小森 一典、松田 剛治

和歌山県町村議会議長会 全議員研修会

- 開催日時：令和3年10月1日（金）13時30分～
- 開催場所：串本町文化センター
- 研修内容：「持続可能な開発目標（SDGs）を活かしたまちづくり」

10月1日、串本町文化センターにおいて、和歌山県町村議会全議員研修会が開催されました。感染症拡大防止の観点から、白浜町議会からは、和歌山県町村議会議長会副会長の議長が参加しました。



白浜町議会議員研修会

- 開催日時：令和3年10月13日（水）14時～
- 開催場所：白浜町役場 委員会室
- 研修内容：「町村議会における一般質問等について」

10月13日、白浜町役場において、議会議員研修会を開催しました。研修会では、大正大学社会共生学部公共政策学科教授・江藤俊昭氏を講師に迎え、一般質問の在り方だけではなく、住民自治の根幹である議会の役割等についても講演いただきました。

和歌山県町村議会議長会 委員長・副委員長研修会

- 開催日時：令和3年10月28日（木）13時30分～
- 開催場所：和歌山県自治会館
- 研修内容：「委員会の運営」

10月28日、和歌山県自治会館において、委員長・副委員長研修会が開催され、白浜町議会からは、常任委員会委員長等3人の議員が参加しました。

研修会では、全国町村議会議長会議事調査部・平野誠氏を講師に迎え、講演をいただきました。



第65回町村議会議長会 全国大会

- 開催日時：令和3年11月26日（金）12時～
- 開催場所：明治記念館

11月26日、明治記念館において、第65回町村議会議長会全国大会が開催され、白浜町議会からは、議長が参加しました。

大会では、感染症対策に関する要望や決議等について審議され、大会終了後には、早稲田大学公共経営大学院教授・片山善博氏による特別講演が行われました。

▷▷ 町議会・町議会議長の主な動き（10月～12月）

10月1日	和歌山県町村議会議長会 全議員 研修会（串本町）
4日	決算審査特別委員会
5日	決算審査特別委員会
6日	決算審査特別委員会
7日	決算審査特別委員会
12日	議会運営委員会 全員協議会
13日	白浜町議会議員研修会 議会広報特別委員会
18日	公立紀南病院組合議会（田辺市）
20日	議会運営委員会 全員協議会
25日	和歌山県町村議会議長会 臨時正 副会長会議（和歌山市）
27日	令和3年第2回臨時会 全員協議会
28日	和歌山県町村議会議長会 委員長・ 副委員長研修会（和歌山市）
30日	紀の国わかやま文化祭 2021 開会 式（和歌山市）
11月4日	大辺路衛生施設組合議会 （すさみ町）
11日	西牟婁郡町村議会議長会
12日	公立紀南病院組合決算特別委員会 （田辺市）
15日	西牟婁老人福祉施設組合 臨時議 会
16日	富田川治水組合議会（上富田町）
17日	リモート行政視察受入れ （三重県熊野市議会）

18日	全員協議会 議員定数等検討特別委員会 富田川衛生施設組合議会
19日	田辺周辺広域市町村圏組合議会
26日	第65回町村議会議長会全国大会 （東京都）
30日	議会運営委員会
12月7日	第4回定例会第1日 全員協議会
16日	第4回定例会第2日 議会運営委員会
17日	第4回定例会第3日
21日	第4回定例会第4日 議会運営委員会
22日	第4回定例会第5日 議会運営委員会 全員協議会 議員定数等検討特別委員会 議会広報特別委員会 ジュニア駅伝白浜町結団式
23日	西牟婁郡町村議会議長会
27日	公立紀南病院組合議会（田辺市）



次回日程

次回定例会（2月）の会期は、2月8日（火）から3月1日（火）までの予定です。

日	月	火	水	木	金	土
1/30	31	2/1 議会運営委員会 10:00～	2	3	4	5
6	7	8 開会日 第1日 提案説明等 10:00～	9 (休会) ※委員会開催や 議案調査のため	10	11	12
13	14	15	16	17 第2日 一般質問 10:00～	18 第3日 一般質問 10:00～	19 (休会)
20	21 予算審査 特別委員会	22 予算審査 特別委員会	23 (休会)	24 予算審査 特別委員会	25 (休会)	26
27	28 第4日 議案審議 10:00～	3/1 閉会日 第5日 議案審議 10:00～	2	3	4	5

2月議会の日程は、2月1日（火）開催予定の議会運営委員会で決定します。
詳細は、議会事務局（43-6591）までお問い合わせください。

編集後記

新年を迎えて初めての議会だよりの発行となりました。町民の皆さままいかがお過ごしでしょうか。昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の影響で地域経済や町内の各種イベントが中止となり、「新しい生活様式」が求められるようになりました。夏には、第5波となる新規陽性者数が全国でピークとなりましたが、春からのワクチン接種によりその数も減少し、和歌山県では、年末にかけて新規陽性者数のゼロ日が続き、少しずつですが落ち着きを取り戻してきました。また、子育て世代への特別給付金の10万円も12月議会で可決され、順次給付されているところであります。インフルエンザも心配な季節ですが、早く日常が戻ることを願います。（堅田）

お知らせ

令和2年9月議会から、議会広報の一環として一般質問の様子をFMビーチステーションにて放送しております。（76.4MHz）
多くの方に聞いてもらえるよう、また、新型コロナウイルス感染症対策として議会の傍聴をお控えになる方にかんがみまして、限られた時間ではございますが、放送を始めております。放送予定については、議会のホームページ等でお知らせしていますので、是非聞いてみてください。

議会広報特別委員会

委員長 長野 莊一
副委員長 堅田 府利
委員 廣畑 敏雄
小森 一典
溝口 耕太郎

町議会に関する情報は「議会ホームページ」へ

